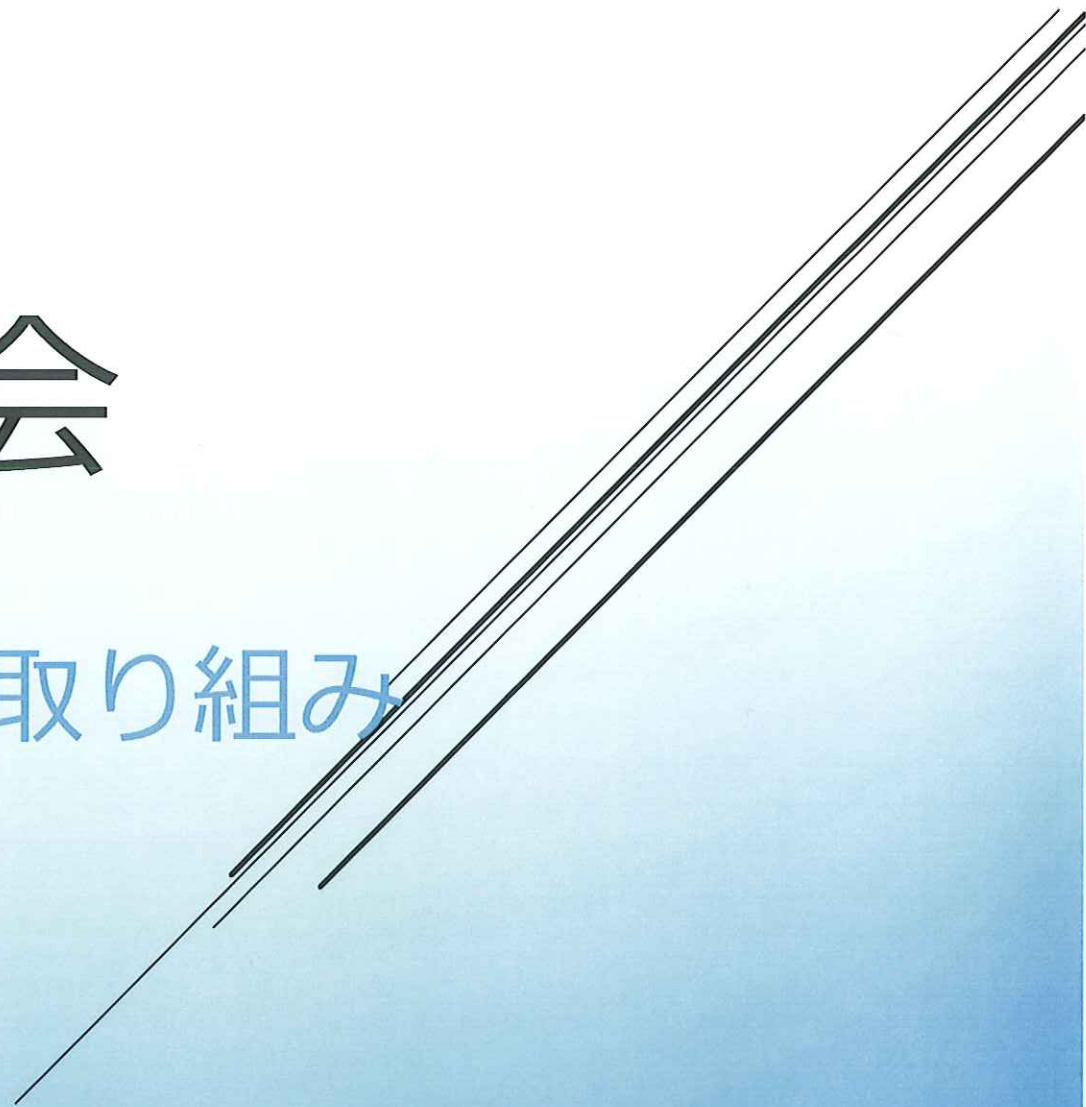


# H27年度 褥瘡委員会

かもな園 褥瘡取り組み



## ■ 委員会の活動内容

### ① 褥瘡発生予防に対する体制の整備

褥瘡発生予防と早期対応のため、日常的に身体チェックを行い、発赤などあれば申し送りに記入し職員への周知を図る。

共有部に繰り返し褥瘡が出来ている方をリストアップし職員に分かり易く記載する。

要観察者などへは、各居室にも注意書きなどを記載し掲示する。

### ② 褥瘡発生のハイリスク者に対する予防的取り組み


褥瘡発生者をリストアップし、月1回程度 患部の観察、患部の大きさの測定、対応方法を検討する。

毎月1回、褥瘡発生者の褥瘡カンファレンスを行う（重度な方を優先的に）  
カンファレンス実施後はその日に連絡帳等を用いて、職員全体に伝達。

職員会議を利用し、他職員への経過報告と再検討を行う。

# 褥瘡カンファレンス

褥瘡カンファレンス				褥瘡部位					
利用者氏名		開催日	H27年〇〇月〇〇日	開催場所		開催時間	〇〇時～	開催回数	〇回
出席者									
原因	患部に伴っての原因の記載								
対策	今後の取り組み					写真添付（必要時）			
評価	後日、対策に対する評価 今後の課題								

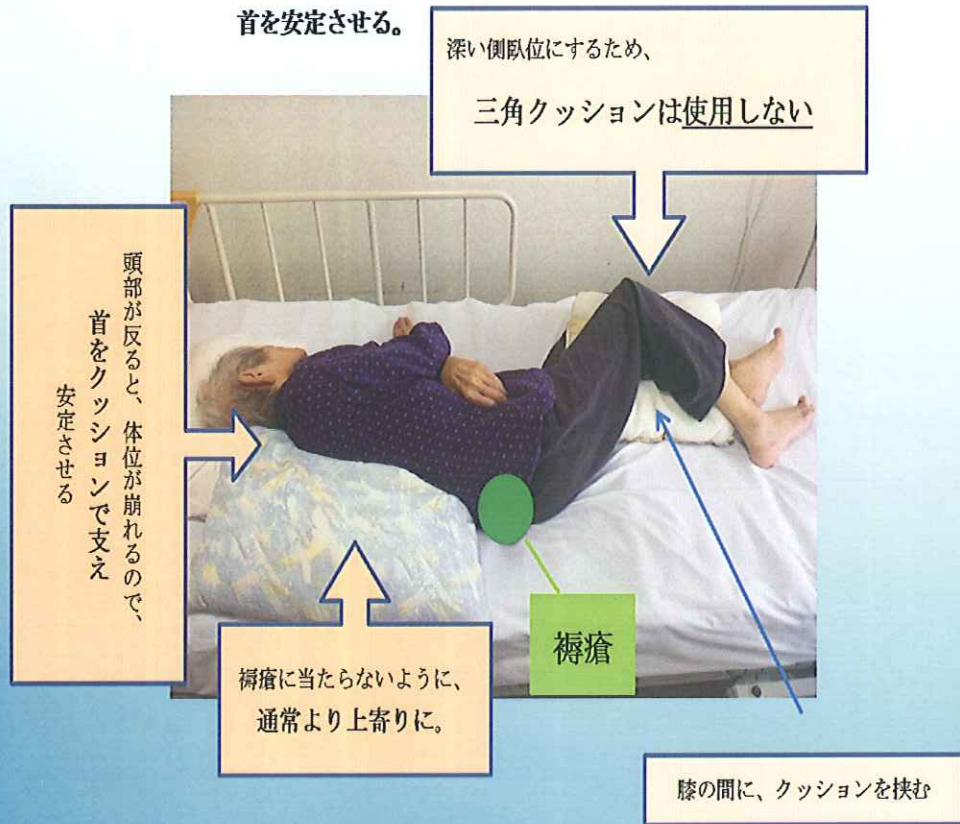
褥瘡カンファレンス			褥瘡部位		右腰部				
利用者氏名	〇〇 〇〇〇	開催日	H27年 11月 22日	開催場所	地域交流ホール	開催時間	14時00分	開催回数	2
出席者	船戸	高橋NS	原田	河野	藤内				
原因	臥床時に除圧が出来ていない								
対策	<p>・褥瘡部位に圧がかからない様に、体位交換方法を分析し徹底して全体で実施する。</p>								
評価	<p>&lt;12/27&gt;高橋、船戸、谷内、三橋、藤原、河村、木下          浸出液少なくなってきた。          食事量がきちんと記入出来ていない。(エプロンにこぼれがあるのに全量と記入あり)          前回よりかは悪くなっていない          匂いが減ってきている          ポケットの改善はしていない。          ☆今の状態を継続し夜間浸出液があれば洗浄          ☆食べこぼしが無いようしっかり食べて頂く。きちんと食事量の記入</p>								

褥瘡の位置：腰部の右寄り

仰臥位は避け、下記の要領で、左側臥位か右側臥位でお願いします。  
注意：深い側臥位が必要なので、（左右とも）三角クッションは使用しません。

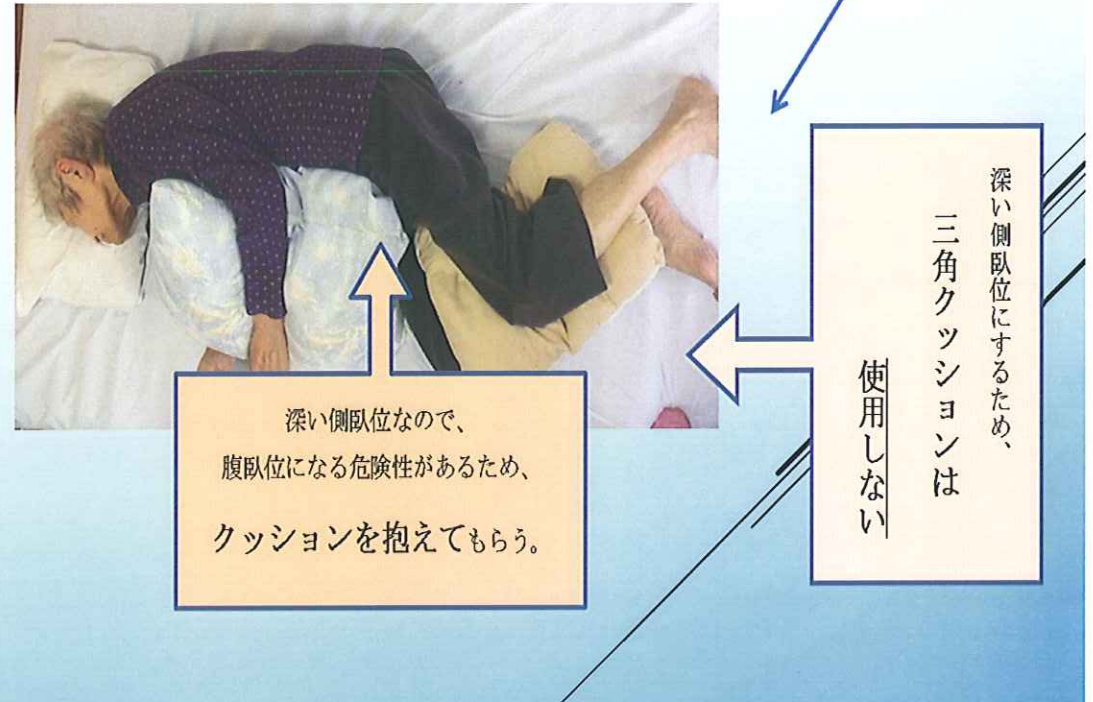
●左側臥位

※ポイント：クッションが褥瘡に当たらないように注意する。体位を持続させるため、



●右側臥位

※ポイント：腹臥位を防止しながら、深い側臥位にし、褥瘡の圧迫を避ける



# 褥瘡カンファレンス



## < 評価 >

- ・ 水分の摂取も増え、褥瘡者の減少に繋がっている。
- ・ 去年度と違い、委員会以外の職員参加のカンファレンスも実施し、以前より意識して取り組んでいる。又、意見も豊富になり、対策方法が増えた。
- ・ 治癒はしているが繰り返し発症している方もおり、予防対策がきちんと整っていない。
- ・ ショートステイ利用の方に対し、家族様との対応方法について連携が出来ておらず、統一した対応が出来ていなかった。

## < 来年度に向けて >

- ・カンファレンスは継続して行い職員の意識向上に努める。
- ・乾燥、湿潤皮膚への予防的スキンケアへの定着化
- ・ずれ・摩擦力軽減の為、個々に合った介護用品の選定

※これらの事は発症者だけではなく、予防対策にも重要なので職員間全体で日々の観察をしっかりと行い、引継ぎと早期の予防対策を整えていく。